

# 花貫フルーツほおずきのブランド化

県北農林事務所経営・普及部門

花貫フルーツほおずき倶楽部は所得の向上や地域農業の振興を図るため、花貫フルーツほおずきを高萩市の新しい特産品に育成しようと様々な活動を進めています。県北農林事務所経営・普及部門ではその活動を支援するため、関係機関や食のアドバイザーと連携して①安定した栽培技術の確立、②加工品開発による規格外品の有効利用の促進、③販売・PRによるブランド化の確立等に取り組んでいます。花貫フルーツほおずきの品質は高く、食の専門家からも高い評価を得られる等、その将来性は大いに期待されています。

## 安定した栽培技術の確立

花貫フルーツほおずきは新品目で生産が不安定であるため、安定生産に向け栽培講習会や巡回指導等を行い、栽培技術の向上に努めています。特に、チョウ目害虫やハクビシンは大きな被害を与えるため、これらの防除対策に重点的に取り組んでいます（写真1）。また、山間地帯特産指導所と連携し、整枝剪定法の改善等の安定した栽培技術の確立に取り組んでいます。



写真1 防獣ネット等によるハクビシン被害の防止



写真2 ほおずきのジャム（チューブタイプ）

## 販路拡大・PRの推進

各種イベントや商談会等への参加支援の他、事業を活用したパンフレットやPRグッズの製作を支援する等、販路の拡大やPR活動に取り組みました。

その結果、新たに都内の有名料理店や、県内の有名菓子店等と取引が行われた他、高萩市のふるさと納税返礼品にも採用されるようになる等、地元特産品としての知名度が向上しています。

## 加工品の開発

花貫フルーツほおずきの特徴である風味や、甘酸っぱさを活かした加工品の開発に取り組んできました。なかでも、ジャムは茨城県農産加工品コンクールで受賞する等、高い評価をいただいています（写真2）。また、農産加工指導センターの支援を受け、ドライフルーツの試作に取り組んだ他、アイスクリームの開発・販売に向け、関係者の連絡調整を行う等の支援を行いました。



写真3 贈答用等のパッケージ